

アグリ ワーク ポイント AGRI WORK POINT



一番茶に向けた準備期間です

茶指導販売課 菊川



今月から気温が上昇し、いよいよ春を迎えます。越冬芽の生育が始まる時期になりますので、気象状況や茶園の様子をよく観察し収量・品質の良い一番茶の摘採に向けて適切な管理を行いましょ。う。

春肥（2回目）の施用

先月号でも紹介した春肥は一番茶の収量・品質を向上させるため、この時期に2回目の施用を行います。

施肥量…年間施肥量（静岡県）の施肥基準…窒素54kg・リン酸18kg・カリ27kg／年）に対して窒素50%、リン酸30%、カリ30%分を目安に施用

時期…3月上旬頃

使用資材…5JA共通さかな配合 など

病害虫の防除

カンザワハダニ

防除時期…3月上旬～中旬頃

越冬から明けたこの時期は、茶樹の裾部分や日当たりの良い箇所が発生が見られやすくなります。400L/10aの薬液を葉裏にもかかるよう丁寧に散布しましょう。

※防除を行う際は農薬の希釈倍率・混用事例などをよく確認して、適期防除を行ってください。特に、昨年秋季整枝後に防除を行った茶園では一番茶摘採前の散布回数にカウントされるため注意が必要です。

環境保全情報（ECセンサー）について

JA大井川管内では、2000年1月より、管内10か所にECセンサーを設置し、**気温・降水量**などのデータを観測・発信してきましたが、2026年3月31日をもってネットワークサービスが終了し、現在JA大井川公式HPに掲載しているページからの閲覧ができなくなりました。

今後については、新システム「**re-Kakashi**」を導入し管内の気象情報の提供を行う予定です。登録方法等につきましては、JA大井川公式HPなどで随時情報を発信していきますので、引き続き皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。